



「水島発電所1号機改造計画 環境影響評価書」に対する 確定通知の受領について

当社は、環境負荷の低減と地球環境問題への対応に配慮し、水島発電所1号機について、使用する燃料を現在の石炭から天然ガスへ転換するとともに、発電効率の高いコンバインドサイクル発電方式を採用した発電設備に改造することとしています。

その一環として本年10月27日、経済産業大臣に「水島発電所1号機改造計画環境影響評価書」（以下、評価書という）の届出を行い、審査していただいておりますが、本日、評価書を変更する必要がないとする確定通知を受領いたしました。

これを受けて本日、環境影響評価法に基づき岡山県知事ならびに倉敷市長に評価書を送付するとともに、以下のとおり11月28日から1カ月間、住民の皆さまに評価書等の縦覧をいたします。

なお、環境影響評価法に基づく手続きは、評価書等の縦覧終了をもって完了となります。

《評価書の縦覧》

1. 縦覧場所 **【関係自治体庁舎】**
 - ・倉敷市役所（土曜日、日曜日は除く）
 - ・倉敷市水島公民館（月曜日および指定休館日を除く）**【当社事業所】**
 - ・水島発電所（土曜日、日曜日も閲覧可能）
2. 縦覧期間 平成18年11月28日（火）～平成18年12月27日（水）
3. 縦覧時間 各所とも9時～17時

以上

【添付資料】

（別紙）水島発電所1号機改造計画 環境影響評価書の概要

（参考）水島発電所1号機改造計画に伴う環境影響評価手続きの流れ

水島発電所 1号機改造計画 環境影響評価書の概要

1. 対象事業の目的及び内容

水島発電所 1号機について、現有設備を有効に活用しながら、燃料を石炭から天然ガスへ転換することにより環境負荷の低減と地球環境問題への対応に配慮した、より発電効率の高いコンバインドサイクル発電方式への改造を行うこととしました。

2. 1号機改造計画の概要

(1) 対象事業実施区域

水島発電所構内（倉敷市潮通 1 丁目 1 番地）

(2) 設備概要等

項 目		現 状	改 造 後	
発 電 方 式		汽力発電	コンバインドサイクル発電	
発 電 規 模		12.5 万 kW	28.56 万 kW	
使 用 燃 料		石 炭	天然ガス	
環 境 保 全 対 策	排 ガ ス (排出濃度：排出量)	窒素酸化物	130ppm：60.5m ³ _N /h	5ppm：9.5m ³ _N /h
		硫黄酸化物	95ppm：44.1m ³ _N /h	排出しない
		ばいじん	0.04g/m ³ _N ：18.6kg/h	排出しない
	煙 突		地上高 160 m（集合）	地上高 160 m（単独）
	二 酸 化 炭 素(排出原単位)		1.008kg-CO ₂ /kWh	0.376kg-CO ₂ /kWh
	冷 却 方 式, 温排水量		海水冷却方式, 26.1m ³ /s	現状どおり

(3) 工事期間（予定）

工 事 開 始 時 期：平成 19 年 4 月， 営 業 運 転 開 始 時 期：平成 21 年 4 月

3. 主な環境影響評価の概要

(1) 大気環境

窒素酸化物の発電所全体の最大着地濃度※（年平均値）予測結果は現状より低減され、0.00019ppm と極めて低い濃度であることから、環境への影響は少ないものと考えられます。また、発電電力量当たりの二酸化炭素排出量は発電所全体で、0.925kg-CO₂/kWh から 0.566kg-CO₂/kWh に低減されます。

※最大着地濃度・・・大気拡散予測において計算結果を示す方法のひとつで、発電所から排出されたばい煙の濃度が最も高くなる場所をいう。

(2) 温排水

温排水による水温上昇域を予測した結果、海表面の 1℃ 上昇域は発電所全体で 2.9km² であり現状と同じことなどから、周辺海域の水温に及ぼす影響は少ないものと考えられます。

(3) 一般排水

発電設備からの排水は、既存の総合排水処理設備で適切に処理し、排水中の化学的酸素要求量などの排水濃度は現状と同じであり、また排水量は現状より低減します。そのため汚濁負荷量は現状に比べて減少することから、海域の水質に及ぼす影響は少ないものと考えられます。

4. 経済産業大臣勸告等を踏まえた準備書からの主な追加記載事項

当社は J パワー（電源開発株式会社）と共同で設立した瀬戸内パワー株式会社へ将来的に電源設備を譲渡することとしており、仮に本発電設備が譲渡された場合の京都議定書目標達成計画との整合性などについて追加記載しました。

なお、具体的な譲渡電源は現時点では未定ですが、譲渡後の電源設備は当社が所有している電源設備と同様に、二酸化炭素排出原単位低減に向けた自主目標の適用範囲に含め目標達成に向け努力してまいります。

水島発電所 1号機改造計画に伴う環境影響評価手続きの流れ

